

2019年度 授業時間割 2年前期

月	日	月						日	火						日	水								日	木								日	金							
		1	2	3	4	7	8		1	2	3	4	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8
		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$
		10:20	12:00	14:20	16:00	17:30	18:40		10:20	12:00	14:20	16:00	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40
4	1						2						3	人体構造系 末梢神経	国際 医学ゼミ	人体構造系 実習			4	神経 感覚器系	医と 社会	人体構造系 実習			5		国際 医学ゼミ	人体構造系 実習													
	8	※教養教育						9	※教養教育									10					11		12																
	15							16										17					18		19																
	22							23										24	動物性機能系					25					26												
	29	昭和の日						30	国民の休日						1	改元							2	国民の休日							3	憲法記念日									
5	6	(こどもの日)振替休日						7	※教養教育							8	動物性機能系	国際 医学ゼミ	人体構造系 実習			9	神経 感覚器系		人体構造系 実習			10	動物性機能系	医と 社会	国際 医学ゼミ	生理学実習									
	13	※教養教育												14						15						16							17								
	20													21						22						23							24								
	27													28						29						30							31								
	6						3	※教養教育								4				※教養教育								5							6			7			
10				11											12			13			14																				
17				18											19			20			21																				
24				25											26			27			28																				
7	1	※教養教育							2	※教養教育							3			4			5																		
	8								9								10			11			12																		
	15						海の日						16	※教養教育 (月曜の授業)							17			18			19														
	22						※教養教育							23	※教養教育							24	試験期間					25	試験期間						26	試験期間					
29			30											31			1			2																					
8	5	夏季休業							6	夏季休業							7	夏季休業					8	夏季休業						9	夏季休業										
	12								13								14						15							16											
	19								20								21						22							23											
	26								27								28						29							30											
9	2	試験期間					3	試験期間					4	試験期間						5	試験期間						6	試験期間													
	9																	10							11							12			13						
	16	敬老の日					17						18							19							20														

2019年度 授業時間割 2年後期

月		月						日	火						日	水								日	木								日	金																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		7	8	1	2	3	4	5	6		7	8	1	2	3	4	5	6		7	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	12:10 \$	14:00 \$	15:10 \$	16:20 \$	17:30 \$		18:40 \$	8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	12:10 \$	14:00 \$	15:10 \$	16:20 \$	17:30 \$	18:40 \$																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
9	23	秋分の日						24							25	腫瘍系		医と社会Ⅱ (共修)						26	感染症系		11:10 \$	13:00 \$	15:10 \$	16:20 \$	17:30 \$	18:40 \$	27	分子遺伝系		11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:10 \$	16:20 \$	17:30 \$	18:40 \$																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	30	※教養教育				英語		1	※教養教育				(地域・地域特) 活動報告会									2		3																				4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

2019年度 授 業 時 間 割 学 士2年前期

月	日	月								日	火								日	水								日	木								日	金																						
		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8															
		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$															
		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40															
4	1									2									3	人体構造系 末梢神経	医学ゼミ	人体構造系 実習					4	神経 感覚器系	人体構造系 実習					5	動物性機能系	人体構造系 実習	医学ゼミ	人体構造系 実習																						
	8			医と 社会 I	人体 構造系 骨学	骨学実習			9	医と社会 I								10															11												12															
	15							16																			17																	18					19											
	22								23						発生・ 組織系			24																25														26												
	29	昭和の日											30	国民の休日								1	改元								2	国民の休日								3	憲法記念日																			
5	6	(こどもの日)振替休日								7	医と社会 I (共修)				発生・ 組織系				8	動物性機能系	医学ゼミ	人体構造系 実習					9	神経 感覚器系	人体構造系 実習					10	動物性機能系	医と 社会	医学ゼミ	実習 説明																						
	13			医と 社会	骨学	骨学実習				14																15																	16					17												
	20			生体 分子系						21	医と社会 I															22																				23														
	27	人体構造系 筋学								28							発生組織系・上皮組織 支持組織 発生組織系・支持組織 筋組織																29															30												
6	3									4	医と社会 I				発生組織系・ 支持組織 筋組織				5	動物性機能系	医学ゼミ	人体構造系 実習					6	神経 感覚器系	人体構造系 実習					7	動物性機能系	医と 社会	医学ゼミ	生理学実習																						
	10									11																12																	13					14												
	17	人体構造系 筋学								18																	19																					20												
	24									25																	26																					27												
7	1									2	医と社会 I				発生組織系・ 支持組織 筋組織				3	動物性機能系	医学ゼミ	人体構造系 実習					4	神経 感覚器系	人体構造系 実習					5	動物性機能系	医と 社会	医学ゼミ	人体構造系 実習																						
	8			医と 社会						9																10																	11					12												
	15	海の日								16																17																	18					19												
	22									23	試験期間															24							試験期間										25		試験期間					26	試験期間									
29	試験期間																30					31					1					2																												
8	5									6	夏季休業								7	夏季休業					8	夏季休業					9	夏季休業																												
	12	夏季休業								13				夏季休業			14													15						夏季休業				16																				
	19									20							21		22																					23																				
	26									27							28		29																					30																				
9	2									試験期間								3	試験期間																						4	試験期間					5	試験期間					6	試験期間						
	9						10																11					12					13																											
	16	敬老の日																17								18					19					20																								

2019年度 授 業 時 間 割 学 士2年後期

月	日	月								日	火								日	水							日	木								日	金								
		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8		
		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$	8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$	8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		
		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40
9	23	秋分の日								24	人体構造系 脈管		内臓機能体液系						25	腫瘍系	医と社会 II (共修)						26	感染系	医と 社会	免疫系					27	分子遺伝系	医学ゼミ	医と 社会	感染系						
10	30	人体構造系 脈管			内臓機能体液系	英語			1	生体分子系	発生組織系 脈管・リンパ							2								3							4												

医と社会Ⅱ

責任者	氏名（教室）	安武 亨（先端医育センター）		
	電話番号	095-819-7987	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	2年次・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
科目英語名	Medicine and Society 2		

1. 授業の概要及び位置づけ

病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている環境を洞察しうる医師となる。病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、老健施設などの体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。リハビリテーションについて学ぶ。また、高齢者と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。長崎純心大学、保健学科との共修を通して医療・福祉・介護の多方面からの視点を理解し尊重する。

2. 授業到達目標

1. 自らの知識・能力を振り返り、新たな学習の必要性を認知して、信頼できる情報を得て、その後の学習や診療に活かすことができる。
2. 個々の事例が生命倫理・医療倫理上の問題であるか否かを判断・認識し、対応できる。
3. 個々の及び組織全体の医療安全に配慮した行動ができる。
4. 医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係を確立できる。
5. チーム医療の重要性を理解し、関連専門職との連携を図ることができる。
6. 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握することができる。
7. 患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意を得るための対話能力を有し、適切な態度・思考ができる。
8. 行政・保健・医療・福祉と介護の制度を理解し、利用することができる。

3. 授業内容（講義・実習項目）

A 医療と人間（保健学科と共修）

人の心の発達、性と生、高齢期を生きる、医療人と患者及び家庭との関係の4区分で講義を行う。

1. 人の心の発達：乳幼児と親の心、子供と社会 児童虐待の現状から、子供の心の発達、学童期、思春期
2. 性と生：人間の性 概論、ドメスティックバイオレンス
3. 高齢期を生きる：高齢期介護の実際、認知症高齢者を家族と地域で支える、地域における高齢者の生活を考える

B Early Exposure（医学科）

老健施設などの体験実習に参加し、体験に基づいたレポートを作成する。

C 診療の心得（診療マナー、バイタルサインの取り方、超音波や心電計等の基本操作）

D 事例検討（長崎純心大学、保健学科と共修）

E ようこそ先輩

F リハビリテーション

4. 教科書・教材・参考書

必要に応じて各講義の最初の時間に紹介する。

講義「乳児と親の心」 参考図書「重い障害児に導かれて」 著者：福田雅文

5. 成績評価の方法・基準等

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習にはすべて出席すること。打刻（打刻可能な講義室の場合）、その他の方法による出席確認、レポートなどの提出物がある場合の提出期限までの提出・受理のどれが欠けても欠席とする。以上の基準で、授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

6. 事前・事後学修の内容

LACSに適宜掲載

7. 教員名

安武 亨（先端医育センター）、田中 邦彦（先端医育センター）、江川 亜希子（先端医育センター）、北山 素（先端医育センター）、平野 裕子（保健学科）、井口 茂（保健学科）、中尾 理恵子（保健学科）、高畠 英昭（リハビリテーション部）、北島 百合子（産婦人科）、永田 康浩（地域包括ケア教育センター）、前田 隆浩（地域医療学）、小川 さやか（保健医療推進センター）、辻野 彰（脳神経内科）、馬場 史郎（脳神経外科）、古賀 智裕（第一内科）、有吉 紅也（熱研内科）、安部 恵代（公衆衛生学）、山本 和子（第二内科）、久芳 さやか（第二外科）、大町 いづみ（保健学科）、樋口 昌巳（長崎県佐世保こども・女性・障害者支援センター）、小柳 憲司（長崎県立こども医療福祉センター）、福田 雅文（みさかえの園むつみの家）、中田 慶子（DV防止ながさき）、陣野 紀代美（長崎市医師会保健福祉センター）、菅崎 弘之（すがさきクリニック）、石松 隆和（地方創生推進本部）、潮谷 有 二（長崎純心大学）、宮野 澄男（長崎純心大学）

8. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。
行動科学分野責任者：青柳 潔、安部 恵代

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	E
III. 医療の実践	E
IV. コミュニケーション技能	C
V. 地域医療・社会医学	C
VI. 科学的探究	E

医と社会Ⅱ

(2年次・通年)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	18	木	3	ようこそ先輩	ようこそ先輩	脳神経内科 辻野 彰	1 講
5	31	金	2	ようこそ先輩	ようこそ先輩	脳神経外科 馬場 史郎	ボンペ会館
9	25	水	4～5	保健学科共修	オリエンテーション 人間の性	産婦人科 北島百合子	2 講
9	25	水	5～6	保健学科共修	子どもの社会的養育 ー児童虐待対応の現場からー	長崎県佐世保こども・女性・ 障害者支援センター 樋口 昌巳	2 講
10	2	水	4～5	保健学科共修	ドメスティックバイオレンス	NPO法人 DV防止ながさ き 中田 慶子	2 講
10	2	水	5～6	保健学科共修	高齢者介護の実際	長崎市医師会保健福祉セ ンター 陣野 紀代美	2 講
10	3	木	4	ようこそ先輩	ようこそ先輩	第一内科 古賀智裕	2 講
10	9	水	4～5	保健学科共修	認知症高齢者を家族と地域で支える	すがさきクリニック 菅崎 弘之	2 講
10	9	水	5～6	保健学科共修	地域における高齢者の生活を考える	地方創生推進本部 石松隆和	2 講
10	10	木	4	ようこそ先輩	ようこそ先輩	熱研内科 有吉 紅也	1 講
10	11	金	4	行動科学	行動医学と生物統計学	公衆衛生学 安部 恵代	1 講
10	16	水	4～6	地域包括	共修事前授業	地域包括ケア教育センター	1 講・2 講・ 記念講堂・GH
10	23	水	3	地域医療	認知行動療法の適用とその効果	保健・医療推進センター 小川 さやか	2 講
10	23	水	4～6	地域包括	純心・保健学科・医学科共修	地域包括ケア教育センター	1 講・2 講 ・GH・セミナー
10	30	水	3	地域医療	地域コミュニティにおける保健医療専門職の 役割と活動	保健学科 中尾 理恵子	1 講
10	30	水	4～6	地域包括	純心・保健学科・医学科共修	地域包括ケア教育センター	記念講堂・専斎 1 講・GH・セミナー
11	6	水	4～5	保健学科共修	子供の心の発達、学童期、思春期	長崎県立 こども医療福祉セ ンター 小柳 憲司	2 講
11	6	水	5～6	保健学科共修	乳児と親の心	みさかえの園総合発達医療 福祉センター 福田 雅文	2 講
11	13	水	4～6	地域包括	実習オリエンテーション	地域包括ケア教育センター	2 講
11	20	水	1～6	地域包括	高齢者施設実習	地域包括ケア教育センター	専斎・1講 ・セミナー
11	27	水	1～6	地域包括	高齢者施設実習	地域包括ケア教育センター	専斎・1講 ・セミナー
12	4	水	1～3	地域包括	実習振り返り	地域包括ケア教育センター	1講・セミナー ・視聴覚
1	15	水	1～3	リハビリテーション	リハビリテーション概論	リハビリテーション部 高島 英昭	1 講
1	22	水	1	ようこそ先輩	ようこそ先輩	第二内科 山本 和子	1 講
1	22	水	2	行動科学	認知の情報処理	保健・医療推進センター 小川 さやか	1 講
1	22	水	3	未定			1 講

人体構造系Ⅱ

責任者	氏名（教室）	弦本 敏行（肉眼解剖学（解剖学第二））		
	電話番号	095-819-7021	e-mail	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	18:00～19:00		

対象年次・学期	2年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3.5
科目英語名	Human Body Structure 2		

1. 授業の概要及び位置づけ

解剖学実習は御遺体を自らの手で解剖するという特殊な実習でもあるので、知的修得ばかりでなく「心の学習」の場でもあることを自覚、認識して臨まなくてはならない。人体構造系は「肉眼解剖学」の知識を習得する学問である。講義並びに実習を通して人体の諸構造を理解するための解剖学的知識を修得するとともに、解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも身につける。その際学ぶ解剖学用語は、一つ概念を表現するために約束された記号であり、かつ将来、臨床医学を学ぶ上で必須の公用語でもある。また、解剖学実習は剖検した構造物を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会として位置づけられる。

2. 授業到達目標

人体の肉眼解剖学的な種々の諸構造について、適切な解剖学用語を用いて具体的に説明できる。

3. 授業内容（講義・実習項目）

解剖学実習を決められた手技に則って行う。末梢神経系については講義を行う。

4. 教科書・教材・参考書

★グラント解剖学実習 新井良八 監訳 西村書店 4,800 円
★ネッター解剖学アトラス 相磯貞和 訳 南江堂 10,000 円
★グレイ解剖学（for students） 塩田浩平 他訳 エルゼビア・ジャパン 10,000 円
分担解剖学1（総説・骨学・筋学） 小川鼎三、森 於菟 他 金原出版 9,300 円
分担解剖学2（脈管学・神経系） 平沢興 他 金原出版 10,600 円
分担解剖学3（感覚器学・内臓学） 小川鼎三 他 金原出版 8,600 円
（★は教科書、必携）

5. 成績評価の方法・基準等

解剖学実習については口答試験と筆答試験を、末梢神経系については筆答試験を行う。

(1) 受験資格 解剖学実習は原則として皆出席、末梢神経系は2/3以上出席。

(2) 試験と評価

○実習中に口答ないし筆答試験を行う

○本試験（解剖学実習、末梢神経学）

○再試験（解剖学実習、末梢神経学）

再試験後、実習の口答試験結果、課題レポート等も併せて、総合的に評価する。

6. 事前・事後学修の内容

解剖学実習をプログラム通りに進行させるためには解剖内容の正確な理解が必要であり、十分な予習を必要とする

1) 配布するプリントの一般的解剖手技を十分学習し、各構造物の剖出の仕方を実践できるようにしておく

2) 実習プログラムに沿って予習しておく

①解剖の大きな流れは3～4回先まで把握する

②頁ごとの手順を理解し、剖出すべき構造物について予習ノートを作成する

③実習日での事前学習は困難であるので、休日等を利用してできるだけ先へ進めておく

7. 教員名

弦本 敏行（肉眼解剖分野）、岡本 圭史（肉眼解剖分野）、佐伯 和信（肉眼解剖分野）、高村 敬子（肉眼解剖分野）、坂本 淳哉（保健学科）、分部 哲秋（非常勤講師）

8. 備考

- (1) 実習中は各班にiPadを貸与するが、教科書は必ず購入すること
- (2) 事前に配布される諸注意に沿って、実習に必要な物を注文・購入しておくこと
- (3) 10月24日に催される解剖体慰霊祭には、ご遺族が出席されます。節度ある身なり・服装・態度をもって必ず出席してください。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	C
III. 医療の実践	E
IV. コミュニケーション技能	E
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	C

人体構造系Ⅱ

(2年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	3	水	1～2	末梢神経4, 5	脊髄神経②	肉眼解剖・弦本	1 講
4	3	水	4～6	解剖学実習 1	実習オリエンテーション (解剖学実習総論)	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村	4 講
4	4	木	4～6	解剖学実習 2	解剖体安置、洗滌 背部の皮剥と皮下	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村	解剖実習室
4	5	金	4～6	解剖学実習 3	背部の皮下②	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	10	水	1～2	末梢神経6, 7	脳神経①	肉眼解剖・弦本	1 講
4	10	水	4～6	解剖学実習 4	背部浅層	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	11	木	4～6	解剖学実習 5	頸部の皮剥と皮下、浅層① 胸部・腹部の皮剥と皮下	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	12	金	4～6	解剖学実習 6	頸部浅層② 浅胸筋	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	17	水	1～2	末梢神経8, 9	脳神経②、自律神経	肉眼解剖・弦本	1 講
4	17	水	4～6	解剖学実習 7	頸部深層、胸鎖関節開放 腋窩	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本、非常勤講師・分部	解剖実習室
4	18	木	4～6	解剖学実習 8	側腹筋 頸部深層②、腋窩②	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	19	金	4～6	解剖学実習 9	腹直筋 上肢の離断	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	24	水	4～6	解剖学実習 1 0	上肢の皮剥と皮下	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	25	木	4～6	解剖学実習 1 1	肩部、上腕伸側	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
4	26	金	4～6	解剖学実習 1 2	背部深層	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
5	8	水	4～6	解剖学実習 1 3	胸腔・腹腔の開放 胸膜、腹膜、自然位の胸腹部内臓	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
5	9	木	4～6	解剖学実習 1 4	上腕屈側	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村	解剖実習室
5	15	水	4～6	解剖学実習 1 5	胸膜、肺、縦隔・心臓① 前腕伸側、手背①	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本、非常勤講師・分部	解剖実習室
5	16	木	4～6	解剖学実習 1 6	縦隔・心臓② 前腕伸側、手背②	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
5	22	水	4～6	解剖学実習 1 7	小腸・大腸① 前腕屈側と手掌①	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
5	23	木	4～6	解剖学実習 1 8	小腸・大腸②、上腹部内臓① 前腕屈側、手掌②	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
5	29	水	4～6	解剖学実習 1 9	上腹部内臓②、小腸・大腸の摘出 後腹膜臓器、後腹壁、横隔膜	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本、非常勤講師・分部	解剖実習室
5	30	木	4～6	解剖学実習 2 0	骨盤部・殿部・会陰の皮剥と皮下 外生殖器と会陰 顔面の皮剥と皮下（浅層①）	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
6	5	水	4～6	解剖学実習 2 1	腰部離断・骨盤折半、骨盤内臓 頭部離断・環椎後頭関節開放 硬膜・内頭蓋底	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本、非常勤講師・分部	解剖実習室
6	6	木	4～6	解剖学実習 2 2	顔面の皮剥と皮下（浅層②） 下肢の皮剥と皮下	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
6	12	水	4～6	解剖学実習 2 3	咽頭・喉頭、顔面浅層③ 大腿伸側・内側	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室

人体構造系Ⅱ

(2年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
6	13	木	4～6	解剖学実習 2 4	顔面深層①、骨盤の血管・神経 殿部、大腿屈側①	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
6	19	水	4～6	解剖学実習 2 5	顔面深層② 殿部、大腿屈側②	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本、非常勤講師・分部	解剖実習室
6	20	木	4～6	解剖学実習 2 6	鼻腔 下腿屈側、足底①	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
6	26	水	4～6	解剖学実習 2 7	口蓋、口腔 下腿屈側、足底②	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
6	27	木	4～6	解剖学実習 2 8	眼窩、外耳・中耳・内耳 下腿外側・伸側・足背	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
7	3	水	4～6	解剖学実習 2 9	上肢の関節	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本、非常勤講師・分部	解剖実習室
7	4	木	4～6	解剖学実習 3 0	下肢の関節	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室
7	5	金	4～6	解剖学実習 3 1	納棺、実習室清掃	肉眼解剖・弦本、岡本、佐伯、高村 保健学科・坂本	解剖実習室

神経・感覚器系

責任者	氏名（教室）	弦本 敏行（肉眼解剖学（解剖学第二））		
	電話番号	095-819-7021	e-mail	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月曜日 17:00～18:00		

対象年次・学期	2年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Neuroanatomy of the human brain		

1. 授業の概要及び位置づけ

神経解剖学の教育目標は、ヒトの脳神経系の形態的な成り立ちとその由来を学び、高度に発達したヒトの脳と神経系の構造を理解することにある。神経の形態学的つながりを理解することにより、感覚器を介した知覚がどのように脳に伝達されてその情報が処理されるのか、また、脳がどのようにして運動をコントロールしているのかなどについて学ぶ。ここでは臨床現場での各種脳神経疾患への対処に通ずる基礎学問として、脊髄、脳、感覚器系の構造と解剖学用語を学び、実際のヒト脳の解剖実習を通して、人間の脳の複雑な構成について、立体的に理解することをめざす。

2. 授業到達目標

中枢神経系と末梢神経系の区分を理解した上で、脳と脊髄の内部構造、神経核の名称と神経どしどのつながり、神経回路の名称等を理解する。神経解剖学用語を日本語と英語で覚え、形態的な位置関係を理解する。

3. 授業内容（講義・実習項目）

系統的な講義（総論と各論）と実習で構成する。神経解剖学用語を学び、神経の伝導路と脳の形態学的構造を理解することが重要である。実習は4人でグループとし、各グループで協力してご遺体の脳による系統的な脳解剖実習を行う。実習では現場での観察と記録を重視する。前半の講義に基本的な知識を習得し、後半の脳解剖実習で実際の脳を見ることにより、知識をより定着させることを目指す。神経解剖学用語（日英）についても改めて理解を深める。

4. 教科書・教材・参考書

★神経解剖カラーテキスト（第2版） A.R. Crossman, C. Neary（著）、野村、水野（訳） 医学書院 5,600円

☆脳単 原島（著） NTS 2,730円

マーティン カラー神経解剖学 テキストとアトラス 野村嵯、金子武嗣（監訳） 西村書店 6,400円

カラー図解 神経解剖学講義ノート 寺島俊雄（著）金芳堂 4,600円

解剖学アトラスⅢ神経系と感覚器（第6版） W.Kahle（著）、平田（訳） 文光堂 5,600円

プロメテウス解剖学アトラス（頭部／神経解剖） 坂井、河田（監訳） 医学書院 11,000円

カンデル神経科学 E. R. Kandel他（著）金澤、宮下（監修） MEDSi 14,000円

★神経解剖実習書 神経形態学（解剖学第一）教室篇 （非売品）

（★は教科書、必携、☆は推奨）

5. 成績評価の方法・基準等

中間試験30%、神経解剖実習書30%、期末試験40%程度とするが、講義・実習への参加態度も含めて総合評価する。

6. 事前・事後学修の内容

教科書、参考書などを参照しつつ、予習、復習を心がけること。

7. 教員名

松本 弦（組織細胞生物学（解剖学第三））、村井 清人（肉眼解剖学（解剖学第二））

8. 備考

なし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	E
II. 医学・医療に関する知識	A
III. 医療の実践	E
IV. コミュニケーション技能	E
V. 地域医療・社会医学	E
VI. 科学的探究	E

神経・感覚器系

(2年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	4	木	1	講義1	神経解剖学 概論	解2 弦本・解3 松本	1 講
4	4	木	2	講義2	中枢神経系の構成（基本構造）	解3 松本	1 講
4	4	木	3	講義3	中枢神経系の構成（血管系と脳室系）	解3 松本	1 講
4	11	木	1	講義4	脳幹と脳神経（脳神経と脳神経核）	解2 村井	1 講
4	11	木	2	講義5	脳幹と脳神経（中脳、橋）	解2 村井	1 講
4	11	木	3	講義6	脳幹と脳神経（延髄、脊髄）	解2 村井	1 講
4	18	木	1	講義7	体性感覚系（脊髄）	解3 松本	1 講
4	18	木	2	講義8	体性感覚系（頭部感覚・三叉神経系）	解3 松本	1 講
4	25	木	1	講義9	体性感覚系（体性感覚）	解3 松本	1 講
4	25	木	2	講義10	体性感覚系（温痛覚）	解3 松本	1 講
5	9	木	1	講義11	体性感覚系（味覚）	解3 松本	1 講
5	9	木	2	講義12	体性感覚系（嗅覚）	解3 松本	1 講
5	16	木	1	講義13	体性感覚系（視覚）	解2 村井	1 講
5	16	木	2	講義14	体性感覚系（聴覚）	解2 村井	1 講
5	23	木	1	講義15	運動系（下行性運動路）	解2 村井	1 講
5	23	木	2	講義16	運動系（脳神経運動核）	解2 村井	1 講
5	30	木	1	講義17	運動系（前庭系と動眼系）	解3 松本	1 講
5	30	木	2	講義18	小脳	解3 松本	1 講
6	6	木	1	講義19	間脳（視床）	解3 松本	1 講
6	6	木	2	講義20	間脳（視床下部）	解3 松本	1 講
6	13	木	1	講義21	大脳基底核	解3 松本	1 講
6	13	木	2	講義22	大脳基底核（錐体外路系運動制御）	解3 松本	1 講
6	20	木	1	講義23	大脳辺縁系（情動・報酬・記憶）	解3 松本	1 講
6	20	木	2	講義24	大脳辺縁系（大脳神経回路）	解3 松本	1 講
6	27	木	1	中間試験	中間試験	解3 松本・解2 村井	2 講
6	27	木	2	中間試験	中間試験	解3 松本・解2 村井	2 講
7	4	木	1	講義25	自律神経系	解2 村井	1 講
7	4	木	2	講義26	脳解剖実習オリエンテーション	解3 松本・解2 村井	1 講
7	10	水	4	実習1	脳解剖実習(第1回)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	10	水	5	実習2	脳の概観、脳膜、脳底、血管系の観察	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	10	水	6	実習3	大脳皮質外側面(回と溝)の観察	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	11	木	1	講義27	脳組織学:神経系の細胞染色と脳組織染色	解3 松本	1 講
7	11	木	2	講義28	機能的神経回路（上行路・下行路）	解3 松本	1 講
7	11	木	4	実習4	脳解剖実習(第2回)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	11	木	5	実習5	小脳・脳幹の離断、小脳の解剖	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	11	木	6	実習6	脳幹の解剖、脳神経の観察	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室

神経・感覚器系

(2年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
7	12	金	4	実習7	脳解剖実習(第3回)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	12	金	5	実習8	脳組織染色(小脳活樹、小脳皮質、小脳核)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	12	金	6	実習9	脳組織染色(延髄、橋、中脳)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	17	水	4	実習10	脳解剖実習(第4回)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	17	水	5	実習11	大脳半球正中断、内側面の観察、海馬、帯状束、脳弓	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	17	水	6	実習12	島、連合線維、レンズ核、放線冠の剖出	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	18	木	1	講義29	MRI画像診断 (大脳基底核・辺縁系)	解3 松本	1 講
7	18	木	2	講義30	MRI画像診断 (小脳・脳幹部)	解3 松本	1 講
7	18	木	4	実習13	脳解剖実習(第5回)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	18	木	5	実習14	大脳半球/前頭断面の観察	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	18	木	6	実習15	大脳半球/水平断面の観察	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	19	金	4	実習16	脳解剖実習(第6回)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	19	金	5	実習17	脳組織染色(海馬、扁桃体、大脳辺縁系)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室
7	19	金	6	実習18	脳組織染色(大脳基底核、大脳新皮質)	解2 弦本・解3 松本・解2 村井	解剖実習室

動物性機能系

責任者	氏名（教室）	篠原 一之（生理学第二（神経機能学））		
	電話番号	095-819-7033	e-mail	kazuyuki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	2年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Neurobiology and Behavior		

1. 授業の概要及び位置づけ

動物性機能生理学では脳および神経の機能について学習する。最近急速に発展した脳・神経機能を学ぶためには、神経細胞レベルからヒトの認知・行動レベルまで、トータルに学ばねばならない。そこで、授業では、脳・神経科学を、1) 体の内外からの情報を受けて解釈する感覚系、2) 情報に基づいて判断を行う統合系、3) 行動を組織して実行する運動系、に分けて、それぞれ分子レベルから現象レベルまで統合的に理解し、脳・神経系学問領域における思考力を養う。

最近、脳・神経科学領域の進歩は目まぐるしい。膨大な情報の中から、将来医師となった時に知っておくべき、基礎的知識から最先端医療に応用可能な知識を授業で学ぶ。具体的には、神経細胞の情報伝達機構、神経再生、脳の統合機能（記憶、情動、本能）、感覚受容・知覚等のテーマについて、統合的システムとして理解できるようになり、脳・神経科学関連疾患の病態、病因、治療についての考察ができることも目標とする。

2. 授業到達目標

講義：神経科学に含まれる事象について、細胞レベル、運動系の末梢から中枢まで、感覚系、統合的脳機能へと、そのメカニズムと全体における位置付けを重要視しながら、発展的に進めていく。項目によっては各専門家を呼び、高度な最新の内容をわかりやすく講義してもらう。

実習：人体を用いた神経、筋の興奮現象の測定を体験し、観察される現象の機構を説明できるようにする。感覚系および中枢を介した反応についていくつかの課題を実行し、背景となる神経機構についての基本的性質を考察し理解する。

講義用スライド・資料等は、「長崎大学LACS」にアップロードするので、各自以下のURLからダウンロードすること。原則として、講義の際に資料の配布はしない。

- ・ 長崎大学LACS <https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/>

3. 授業内容（講義・実習項目）

講義：神経科学に含まれる事象について、細胞レベル、運動系の末梢から中枢まで、感覚系、統合的脳機能へと、そのメカニズムと全体における位置付けを重要視しながら、発展的に進めていく。項目によっては各専門家を呼び、高度な最新の内容をわかりやすく講義してもらう。

実習：人体を用いた神経、筋の興奮現象の測定を体験し、観察される現象の機構を説明できるようにする。感覚系および中枢を介した反応についていくつかの課題を実行し、背景となる神経機構についての基本的性質を考察し理解する。

講義用スライド・資料等は、「長崎大学LACS」にアップロードするので、各自以下のURLからダウンロードすること。原則として、講義の際に資料の配布はしない。

- ・ 長崎大学LACS <https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/>

4. 教科書・教材・参考書

第3版カールソン 神経科学テキスト Neil. R. Carlson (泰羅雅登・中村克樹 訳) 丸善 18,900 円

Principles of Neural Science Eric. R. Kandel McGraw-Hill Companies 10,699 円

メカ屋のための脳科学入門-脳をリバーエンジニアリングする 日刊工業新聞社 2,376 円

5. 成績評価の方法・基準等

原則として筆答試験による。（実習も考慮する。）

6. 事前・事後学修の内容

事前にLACS上に講義資料をアップし、学生が講義内容を予習できるようにする。

7. 教員名

篠原 一之（第二生理学）、中畑 泰和（第二生理学）、樽見 航（第二生理学）、青山 晋也（第二生理学）、北岡 隆（眼科）、原 稔（耳鼻咽喉科）、石井 浩二（麻酔科）、内匠 透（理化学研究所）、中村 孝博（明治大学）

8. 備考

なし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	E
II. 医学・医療に関する知識	C
III. 医療の実践	F
IV. コミュニケーション技能	E
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	F

動物性機能系

(2年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	24	水	1	動物性機能性	神経科学の基礎と歴史	篠原 一之	1 講
4	24	水	2	動物性機能性	神経系を構成する諸要素 (形態・機能・分子)	樽見 航	1 講
5	8	水	1	動物性機能性	静止状態のニューロンと膜電位	樽見 航	1 講
5	8	水	2	動物性機能性	ニューロンの興奮とその伝導	樽見 航	1 講
5	10	金	1	動物性機能性	シナプス伝達	篠原 一之	1 講
5	10	金	2	動物性機能性	神経伝達物質の放出と受容体	篠原 一之	1 講
5	15	水	1	動物性機能性	視覚	北岡 隆	1 講
5	15	水	2	動物性機能性	骨格筋の構造・機能	青山 晋也	1 講
5	17	金	1	動物性機能性	神経細胞の死	篠原 一之	1 講
5	17	金	2	動物性機能性	神経細胞の再生	篠原 一之	1 講
5	22	水	1	動物性機能性	運動系システムの階層性	中畑 泰和	1 講
5	22	水	2	動物性機能性	脊髄反射	青山 晋也	1 講
5	24	金	1	動物性機能性	聴覚	原 稔	1 講
5	24	金	2	動物性機能性	小脳	中畑 泰和	1 講
5	24	金	4	生理学実習 (説明)	オリエンテーション	篠原 一之、中畑 泰和、樽見 航、青山 晋也	実1・2
5	29	水	1	動物性機能性	平衡感覚	樽見 航	1 講
5	29	水	2	動物性機能性	脳機能の研究戦略	内匠 透	1 講
5	31	金	1	動物性機能性	生体リズム	中村 孝博	ポンペ会館
5	31	金	4	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
5	31	金	5	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
5	31	金	6	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
5	31	金	7	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
5	31	金	8	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	5	水	1	動物性機能性	体性感覚	中畑 泰和	1 講
6	5	水	2	動物性機能性	大脳基底核	青山 晋也	1 講
6	7	金	1	動物性機能性	痛覚	石井 浩二	1 講
6	7	金	4	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	7	金	5	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	7	金	6	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	7	金	7	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	7	金	8	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	12	水	1	動物性機能性	味覚	青山 晋也	1 講
6	12	水	2	動物性機能性	高次感覚機能	樽見 航	1 講
6	14	金	1	動物性機能性	学習と記憶 (脳内メカニズム)	篠原 一之	1 講
6	14	金	4	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	14	金	5	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村 孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2

動物性機能系

(2年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
6	14	金	6	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	14	金	7	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	14	金	8	生理学実習	誘発筋電図・脳機能計測等	篠原 一之、中畑 泰和、中村孝博、樽見 航、青山 晋也	実1・2
6	19	水	1	動物性機能性	本能行動（視床下部）	樽見 航	1 講
6	19	水	2	動物性機能性	学習と記憶 （シナプスの可塑性）	中畑 泰和	1 講
6	21	金	1	動物性機能性	嗅覚	篠原 一之	1 講
6	26	水	1	動物性機能性	運動と感覚の連関	中畑 泰和	1 講
6	26	水	2	動物性機能性	意識と注意	中畑 泰和	1 講
6	28	金	1	動物性機能性	情動（大脳辺縁系）	篠原 一之	1 講
7	3	水	1	動物性機能性	脳の老化と可塑性	中畑 泰和	1 講
7	3	水	2	動物性機能性	大脳連合野	樽見 航	1 講
7	5	金	1	動物性機能性	睡眠と脳波	篠原 一之	1 講
7	10	水	1	動物性機能性	高次認知機能①	青山 晋也	1 講
7	12	金	1	動物性機能性	高次認知機能②	中畑 泰和	1 講

内臓機能・体液系Ⅱ

責任者	氏名（教室）	篠原 一之（生理学第二（神経機能学））		
	電話番号	095-819-7033	e-mail	kazuyuki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	2年次・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	0.5
科目英語名	Physiology of Visceral Function and Body Fluid 2		

1. 授業の概要及び位置づけ

正常の生命現象を主として機能的な側面から探求することによって、「命がどうできているか」という医学の基礎知識を学ぶ。臨床の場においても、生体の生理現象や病的状態を個体・臓器・細胞・遺伝子という異なるレベルで観察・考察し、知識を臨床に応用させることの重要性を体験する。

2. 授業到達目標

循環、呼吸、血糖調節機能の実習を体験することにより基本的な知識の応用力と臨床生理学的知識を獲得する。

3. 授業内容（講義・実習項目）

- 1) 心電図・肺機能
- 2) 心音・血圧・心エコー
- 3) 循環反射・消化器
- 4) 血糖調節

4. 教科書・教材・参考書

ギャノン生理学 25版 岡田泰伸（監修）他 丸善出版 10,800円 またはその原著26版 9,136円

ガイトン生理学 第13版 石川義弘（翻訳）他、エルゼビア・ジャパン株式会社 16,200円 またはその原著13版 11,678円

標準生理学 第8版 福田 康一郎 他 医学書院 7,999円

人体の正常構造と機能 第2版 坂井 建雄 他 日本医事新報 19,440円

図解心電図テキスト 第6版 Dale Dubin 文光堂 4,860円

教材（重要）：長崎大学LACSにアクセス、実習書をダウンロード・印刷し、各自持参すること。

長崎大学LACS <https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/>

5. 成績評価の方法・基準等

実習は全て履修し、レポートを提出する（手書きのこと。PC入力、コピーは認めない）。出席、実習レポートで成績を評価する。

旧カリキュラム（内臓機能体液系Ⅱ）の再履修者は、旧カリキュラムでの履修済の範囲に関係なく、新カリキュラムの内臓機能体液系Ⅰの2回の試験を受ける（再試験はない）。

6. 事前・事後学修の内容

教科書を参照し、予習復習を行うこと。

7. 教員名

蒔田 直昌（非常勤講師）、辻 幸臣（分子生理学）、石川 泰輔（非常勤講師）

8. 備考

なし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	E
II. 医学・医療に関する知識	D
III. 医療の実践	E
IV. コミュニケーション技能	F
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	D

内臓機能・体液系Ⅱ

(2年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
5	24	金	4	実習説明	実習の事前説明	分子生理・辻	実1・2
5	31	金	4	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
5	31	金	5	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
5	31	金	6	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
5	31	金	7	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
5	31	金	8	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	7	金	4	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	7	金	5	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	7	金	6	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	7	金	7	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	7	金	8	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	14	金	4	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	14	金	5	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	14	金	6	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	14	金	7	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2
6	14	金	8	生理学実習	心電図、超音波検査法（心臓・腹部）、心音・血圧測定、肺機能検査、グルコース負荷試験、肺機能検査	蒔田・石川（非常勤） 分子生理・辻	実1・2

分子遺伝系

責任者	氏名（教室）	吉浦 孝一郎（原研遺伝（人類遺伝学））		
	電話番号	095-819-7118	e-mail	kyoshi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火～木曜日 16:00～17:00		

対象年次・学期	2年次・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2
科目英語名	Human Molecular Genetics		

1. 授業の概要及び位置づけ

分子遺伝学の基本事項である遺伝現象、多様性の理解から始め、それらを表出する分子機構を系統講義する。人の病気を DNA 分子から理解しようと試みる過程を習得する。覚える知識は最小に、応用力は最大に。

2. 授業到達目標

病気の成り立ちを理解するために重要な分子遺伝学の基礎知識を講義する。遺伝学は多様性 (variation) と遺伝 (inheritance) を解析する学問である。ヒトの遺伝・多様性について基本的な暗記事項から幅広い応用力を養成し、思考力を養うことを目標とする。病気の成立に関して、DNA・タンパク・細胞から考える考え方を習得する。

3. 授業内容（講義・実習項目）

分子遺伝学の基本事項である遺伝現象、多様性の理解から始め、それらを表出する分子機構を系統講義する。DNA、染色体・ゲノムの構造と機能、疾患発症に関わる分子病理を講義する。それらの基礎知識の応用として、臨床遺伝学、遺伝子治療、医学に関する生命倫理までを講義する。単一遺伝子病から多因子病までを DNA を通して統一的に理解し、将来の臨床の場に役に立てられるような幅広い知識と応用力を習得して欲しい。

4. 教科書・教材・参考書

遺伝医学への招待 第5版 新川詔夫・太田 亨 南江堂 1,944 円

遺伝医学やさしい系統講義 福嶋義光 監修 メディカルサイエンス・インターナショナル 4,860 円

トンプソン・トンプソン遺伝医学 第7版 福嶋義光 監訳 メディカルサイエンス・インターナショナル 10,800 円

ゲノム医学 菅野純夫・福嶋義光（監訳） メディカルサイエンス・インターナショナル 9,288 円

5. 成績評価の方法・基準等

期末試験：授業内容にそった筆答試験（100点満点）において60点以上を合格とする。

試験および出席等で不正が発覚した場合には、その指示者、実行者ともに当該年度の分子遺伝系の受験資格を与えない（失格）。受験資格を有するか否かについて教務委員会に判断をゆだねることがある。

6. 事前・事後学修の内容

上記教科書による復習を勧める。

7. 教員名

吉浦 孝一郎（原研人類遺伝学）、木下 晃（原研人類遺伝学）、永山 雄二（原研分子医学）、光武 範吏（原研放射線災害医療学）、木住野 達也（先端生命科学研究支援センター）、塚元 和弘（薬学部薬物治療学）、三浦 清徳（産婦人科学）、平山 謙二（熱研免疫遺伝学）、松本 直通（横浜市立大学大学院環境分子医科学）、原田 直樹（京都大学iPS細胞研究所）、近藤 達郎（みさかえの園むつみの家）

8. 備考

期末試験の再試験は行なわないので注意すること。体調不良、事故等の突発的な事情による試験欠席については、追試験を考慮する。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	A
II. 医学・医療に関する知識	S
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	B
V. 地域医療・社会医学	B
VI. 科学的探究	S

分子遺伝系

(2年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	27	金	1	遺伝医学総論I	ヒトの形式遺伝と特性I	原遺・吉浦	2 講
9	27	金	2	遺伝医学総論II	ヒトの形式遺伝と特性II	原遺・吉浦	2 講
10	4	金	1	細胞遺伝学I	染色体の構造と解析法	非常勤・原田	2 講
10	4	金	2	細胞遺伝学II	臨床細胞遺伝学・染色体異常症	非常勤・原田	2 講
10	11	金	1	遺伝医学総論III	ヒトの形式遺伝と特性III	原遺・吉浦	1 講
10	11	金	2	遺伝子の構造I	核酸の生化学	原遺・吉浦	1 講
10	18	金	1	遺伝子の構造II	DNA複製と修復機構	原遺・木下	1 講
10	18	金	2	遺伝子の構造III	ヒトゲノムの構成、遺伝子の構造と機能	原遺・木下	1 講
10	25	金	1	転写と翻訳I	転写・翻訳の機構	原遺・木下	1 講
10	25	金	2	転写と翻訳II	ヒト遺伝子の発現と発現制御	原遺・木下	1 講
10	31	木	3	分子病理I	疾患発症機構I	原遺・吉浦	1 講
10	31	木	4	分子病理II	疾患発症機構II	原遺・吉浦	1 講
11	1	金	1	分子病理III	疾患発症機構III	原遺・吉浦	1 講
11	1	金	2	分子病理IV	疾患発症機構IV	原遺・吉浦	1 講
11	15	金	1	分子病理V	分子遺伝学研究で使われる技術	原遺・吉浦	1 講
11	15	金	2	免疫遺伝学	免疫関連遺伝子と遺伝学	非常勤・平山	1 講
11	29	金	1	分子病理VI	ミトコンドリアDNAと遺伝病	原遺・木下	1 講
11	29	金	2	ゲノム医学研究I	最先端ゲノム医学研究	非常勤・松本	1 講
12	6	金	1	腫瘍遺伝学I	腫瘍遺伝学I	原研細胞・光武	1 講
12	6	金	2	腫瘍遺伝学II	腫瘍遺伝学II	原研細胞・光武	1 講
12	13	金	1	分子病理VI	エピジェネティックス機構	先導生科セ・木住野	1 講
12	13	金	2	分子病理VII	エピジェネティックスと疾患	先導生科セ・木住野	1 講
12	20	金	1	臨床遺伝学I	遺伝性疾患の臨床I	非常勤・近藤	1 講
12	20	金	2	臨床遺伝学II	遺伝性疾患の臨床II	非常勤・近藤	1 講
1	10	金	1	多因子遺伝基礎	集団遺伝学、遺伝子多型、遺伝的浮動	原遺・吉浦	1 講
1	10	金	2	多因子遺伝基礎	多因子疾患と関連解析の基礎	原遺・吉浦	1 講
1	17	金	1	テーラーメイド医療	薬理遺伝学I	薬物治療学・塚元	1 講
1	17	金	2	テーラーメイド医療	薬理遺伝学II	薬物治療学・塚元	1 講
1	24	金	1	ゲノム医学研究II	ゲノム編集と医学	先導生科セ・木住野	1 講
1	24	金	2	遺伝子治療	遺伝子治療の原理と応用	原研分子・永山	1 講
1	31	金	1	出生前診断	遺伝性疾患と出生前診断	産婦人科・三浦	1 講
1	31	金	2	遺伝カウンセリング	遺伝カウンセリング	非常勤・近藤	1 講

感染系

責任者	氏名（教室）	西田 教行（感染分子解析学）		
	電話番号	095-819-7059	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日 16:30～18:30		

対象年次・学期	2年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
科目英語名	Medical Microbiology and Parasitology		

1. 授業の概要及び位置づけ

感染系ではヒトに感染し、病気を起こす微生物（ウイルス・細菌・真菌・原虫・ぜん虫）の生物学的特性と生活環について学び理解する。さらに病気を起こすメカニズムを学び、この授業の終了後には、主要な病原体のもつ生物学的特徴と、感染の結果どのようなメカニズムで発症するのか説明できる。また病原体の地理的分布や、発生頻度、流行状況についての基本的な疫学事項を述べることができる。さらに、これらの治療やワクチンその他による予防法についても説明できる。講義と実習を通しての知識の習得にとどまらず、ケーススタディを通して自ら疑問をもち、問題を発見し問題解決力を養うことを目指している。

2. 授業到達目標

各種病原微生物の特徴を述べることができる。ウイルスの感染・増殖メカニズムを説明できる。細菌・真菌の増殖メカニズムを説明できる。病原性を説明できる。原虫・蠕虫の生活環と感染様式を説明できる。各種病原体の感染経路を説明できる。

3. 授業内容（講義・実習項目）

授業はウイルス学・細菌学（真菌を含む）・寄生虫学（原虫を含む）に大別して行い、学内外の専門家による分担講義とする。各論的内容はグループ学習と発表を中心に行い、講義で内容を補いつつ最先端の研究に触れる。実習の目的は、実際の病原体に触れることにより、現実の「もの」をみる感覚を養い、危険な病原体の取り扱い方法について学び、さらに鑑別診断のロジックを体得することにある。時間は限られているので各論で取り上げていない病原体については自己学習とする。

4. 教科書・教材・参考書

微生物学 基礎から臨床へのアプローチ（2012） 神谷茂、河野茂 監訳 メディカルサイエンスインターナショナル 8,300円

ブラック微生物学 2版（2007） 林英生ら監訳 丸善 7,900円

標準微生物学 10版（2009） 平松啓一・中込治 医学書院 7,350円

戸田新細菌学 33版（2007） 吉田真一・柳雄介 南山堂 15,000円

図説人体寄生虫学 7版（2006） 吉田幸雄・有菌直樹 南山堂 9,450円

5. 成績評価の方法・基準等

学習態度および到達目標への達成度を課題レポート（3割）、実習レポート（3割）、発表（1割）、定期考査（3割）により総合評価し、60点以上の得点をもって合格とする。科目責任者の責任で、再試験を行うことがある。

6. 事前・事後学修の内容

授業で用いる予告された論文の通読。授業で扱った内容の関連箇所を複数の参考書を用いて復習し、知識を整理。

7. 教員名

西田 教行（感染分子）、石橋 大輔（感染分子）、内藤 真理子（歯学部細菌学）、森永 芳智（検査部）、柳原 克紀（検査部）、田口 謙（感染分子）、宮崎 義継（国立感染研）、中垣 岳大（感染分子）、泉川 公一（臨床感染症学）、賀来 敬仁（検査部）、久保 嘉直（感染分子）、佐藤 克也（保健学科）、山城 哲（琉球大学）、ゴーチャン プニータ（分子標的）、坂本 啓（検査部）、金子 修（熱研）、矢幡 一英（熱研）、森田 公一（熱研）、濱野 真二郎（熱研）、平山 謙二（熱研）、山本 太郎（熱研）、安田 二郎（熱研）、早坂 大輔（熱研）、北 潔（グローバルヘルス）

8. 備考

教員の都合により、講義の入れ替えを行うことがある。実習への出席は白衣着用を条件とする。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	S
III. 医療の実践	F
IV. コミュニケーション技能	A
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	S

感染系

(2年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	26	木	1	ガイダンス 1	授業の目的等	西田 教行（感染分子）	2 講
9	26	木	2	ガイダンス 2	微生物学入門	西田 教行（感染分子）	2 講
9	27	金	5	細菌学	細菌の構造	内藤 真理子（歯学部）	2 講
9	27	金	6	細菌学	細菌の代謝	内藤 真理子（歯学部）	2 講
10	3	木	1	細菌学	腸内細菌	非常勤 山城 哲（琉球大学）	2 講
10	3	木	2	細菌学	下痢を起こす細菌感染	非常勤 山城 哲（琉球大学）	2 講
10	4	金	5	細菌学	クラミジア	賀来 敬仁（検査部）	2 講
10	4	金	6	細菌学	マイコプラズマ	賀来 敬仁（検査部）	2 講
10	10	木	1	細菌学	口腔細菌	内藤 真理子（歯学部）	1 講
10	10	木	2	細菌学	緑膿菌	坂本 啓（検査部）	1 講
10	11	金	5	細菌学	細菌性毒素	森永 芳智（検査部）	1 講
10	11	金	6	細菌学	嫌気性菌	森永 芳智（検査部）	1 講
10	17	木	1	総合演習	Case Study 1	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
10	17	木	2	総合演習	Case Study 1	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
10	17	木	3	ウイルス学	ウイルスの複製機構	石橋 大輔（感染分子）	1 講
10	17	木	4	ウイルス学	ウイルス感染と宿主免疫応答	石橋 大輔（感染分子）	1 講
10	18	金	5	総合演習	Case Study 2	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
10	18	金	6	総合演習	Case Study 2	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
10	24	木	1	細菌学	抗酸菌（1）	泉川 公一（臨床感染症学）	1 講
10	24	木	2	細菌学	抗酸菌（2）	泉川 公一（臨床感染症学）	1 講
10	25	金	5	真菌学	真菌（1）	非常勤 宮崎 義継（感染研）	1 講
10	25	金	6	真菌学	真菌（2）	非常勤 宮崎 義継（感染研）	1 講
10	31	木	1	細菌学	滅菌と消毒	柳原 克紀（検査部）	1 講
10	31	木	2	細菌学	化学療法	柳原 克紀（検査部）	1 講
11	1	金	5	総合演習	Case Study 3	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
11	1	金	6	総合演習	Case Study 3	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
11	7	木	1	ウイルス学	レトロウイルス	久保 嘉直（感染分子）	1 講
11	7	木	2	ウイルス学	インフルエンザウイルス	西田 教行（感染分子）	1 講
11	8	金	5	総合演習	Case Study 4	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
11	8	金	6	総合演習	Case Study 4	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
11	14	木	1	ウイルス学	肝炎ウイルス（1）	佐藤 克也（保健学リハ）	1 講
11	14	木	2	ウイルス学	肝炎ウイルス（2）	佐藤 克也（保健学リハ）	1 講
11	15	金	5	総合演習	Case Study 5	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
11	15	金	6	総合演習	Case Study 5	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
11	21	木	1	ウイルス学	出血熱ウイルス（1）	安田 二郎（熱研）	1 講
11	21	木	2	ウイルス学	出血熱ウイルス（2）	安田 二郎（熱研）	1 講
11	28	木	4	ウイルス学	ダニ媒介性ウイルス感染症	早坂 大輔（熱研）	1 講
11	28	木	5	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔 他（感染分子）	実1・2
11	28	木	6	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔 他（感染分子）	実1・2
11	29	金	4	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔 他（感染分子）	実1・2
11	29	金	5	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験	石橋 大輔 他（感染分子）	実1・2
11	29	金	6	細菌学実習	グラム染色と薬剤感受性試験（予備）	石橋 大輔 他（感染分子）	実1・2
12	5	木	4	ウイルス学	神経系に感染するウイルス1（ポリオ、ヘルペス）	田口 謙（感染分子）	1 講
12	5	木	5	ウイルス学	神経系に感染するウイルス2（JC、狂犬病）	田口 謙（感染分子）	1 講
12	5	木	6	ウイルス学	下痢症を起こすウイルス（ロタ&ノロ）	ゴーチャン・プニータ（感染分子）	1 講

感染系

(2年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
12	6	金	5	総合演習	Case Study 6	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
12	6	金	6	総合演習	Case Study 6	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
12	12	木	4	ウイルス学	腫瘍ウイルス 1 (EBVなど)	石橋 大輔 (感染分子)	1 講
12	12	木	5	ウイルス学	腫瘍ウイルス 2 (HPVなど)	中垣 岳大 (感染分子)	1 講
12	12	木	6	ウイルス学	麻疹と風疹	中垣 岳大 (感染分子)	1 講
12	13	金	5	総合演習	Case Study 7	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
12	13	金	6	総合演習	Case Study 7	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
12	19	木	5	ウイルス学	蚊媒介性ウイルス感染症 (1)	森田 公一 (熱研)	1 講
12	19	木	6	ウイルス学	蚊媒介性ウイルス感染症 (2)	森田 公一 (熱研)	1 講
12	20	金	5	総合演習	Case Study 8	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
12	20	金	6	総合演習	Case Study 8	西田 教行・中垣岳大・田口謙	1 講
1	9	木	5	ウイルス学	プリオン	西田 教行 (感染分子)	1 講
1	9	木	6	原虫学	原虫学総論	金子 修 (熱研)	1 講
1	10	金	5	原虫学	トリパノソーマ	金子 修 (熱研)	1 講
1	10	金	6	原虫学	マラリア	矢幡 一英 (熱研)	1 講
1	16	木	4	原虫学	腸管寄生原虫	金子 修 (熱研)	実 2
1	16	木	5	原虫学	原虫学実習	金子 修 (熱研)	実 2
1	16	木	6	原虫学	原虫学実習	金子 修 (熱研)	実 2
1	17	金	5	寄生虫学	寄生虫学総論	濱野 真二郎 (熱研)	1 講
1	17	金	6	寄生虫学	線虫学	濱野 真二郎 (熱研)	1 講
1	23	木	4	寄生虫学	吸虫学	濱野 真二郎 (熱研)	1 講
1	23	木	5	寄生虫学	条虫学	濱野 真二郎 (熱研)	1 講
1	23	木	6	特別講義	Neglected Tropical diseases	平山 謙二 (熱研)	1 講
1	24	金	5	寄生虫学	寄生虫学実習 虫卵など	濱野 真二郎 (熱研)	実 2
1	24	金	6	寄生虫学	寄生虫学実習	濱野 真二郎 (熱研)	実 2
1	30	木	4	特別講義	感染症学の基礎	山本 太郎 (熱研)	1 講
1	30	木	5	特別講義	国際保健	山本 太郎 (熱研)	1 講
1	30	木	6	ウイルス学	薬害ヤコブ等	西田 教行 (感染分子)	1 講
1	31	金	5	特別講義	抗原虫薬開発研究 (1)	北 潔 (TMGH)	1 講
1	31	金	6	特別講義	抗原虫薬開発研究 (2)	北 潔 (TMGH)	1 講

免疫系

責任者	氏名（教室）	由井 克之（免疫学）		
	電話番号	095-819-7070	e-mail	katsu@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	12:30～13:00		

対象年次・学期	2年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Immunology		

1. 授業の概要及び位置づけ

免疫系は、ウイルス・細菌・寄生虫など外界の生物や異物の侵入に対して、個体の恒常性維持のために発達した生体系であり、この系を構成する様々な細胞・分子群は、複雑な相互作用を営みながら秩序正しく行動している。この免疫系の成り立ちの基本原則とその破綻の結果生ずる病態の基礎を理解し知識を身につけることが第一目標である。免疫学は実験医学であり個々の原理は実験によって裏付けられている。これらの実験の基本を理解し、医科学の科学的検証法を学ぶことが第二の目標である。さらに、学生諸君が自ら「なぜ？」との疑問を發し、医科学における真理の探究とその応用に思いを馳せることを期待する。講義および実習においては、単に事実の羅列や記憶ではなく、その基礎にある科学的思想と実験的検証に対する理解を深め、問題解決能力の養成を重視する。

2. 授業到達目標

ヒト免疫系の基本的な仕組みと、免疫系に関連して生ずる様々な病態について説明できる。

3. 授業内容（講義・実習項目）

免疫細胞の認識・分化・活性化・エフェクター機能・制御機構を中心に免疫系の基本原則について講義・実習を行う。さらに、外的内的恒常性の変化に対して免疫系がどの様に機能するか、またその制御機構の破綻とその病態について講義する。

4. 教科書・教材・参考書

Janeway's Immunobiology, 9th ed. Kenneth Murphy Garland Science 9,309円
免疫生物学 原著第9版 笹月健彦・吉開泰信（翻訳） 南江堂 9,180円
Cellular and Molecular Immunology, 9th ed. A.K.Abbas他 Saunders 8,413円
分子細胞免疫学 原著第9版 中尾篤人（翻訳） エルゼビアジャパン 10,584円

5. 成績評価の方法・基準等

筆記試験（中間試験10%、本試験90%）。但し、出席・実習レポートも考慮する。60点以上を合格とする。

6. 事前・事後学修の内容

教科書等の該当する部分を読むこと。

7. 教員名

由井 克之（免疫学）、井上 信一（免疫学）、Bayarsaikhan Ganchimeg（免疫学）、川上 純（第一内科）、森内 浩幸（小児科）、日高 匡章（移植・消化器外科）、室田 浩之（皮膚科・アレルギー科）、鶴殿 平一郎（岡山大学）

8. 備考

なし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	D
II. 医学・医療に関する知識	D
III. 医療の実践	D
IV. コミュニケーション技能	F
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	C

免疫系

(2年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	26	木	4	免疫学入門	免疫系の特徴・免疫学の歴史	免疫・由井	2 講
9	26	木	5	免疫学入門	免疫細胞と組織	免疫・由井	2 講
9	26	木	6	自然免疫	パターン認識受容体	免疫・由井	2 講
10	3	木	5	自然免疫	自然免疫応答、サイトカイン	免疫・由井	2 講
10	3	木	6	自然免疫	補体	免疫・由井	2 講
10	10	木	5	抗原認識	抗体の構造と機能	免疫・由井	1 講
10	10	木	6	抗原認識	抗体遺伝子	免疫・由井	1 講
10	17	木	5	抗原認識	T細胞の抗原認識	免疫・由井	1 講
10	17	木	6	抗原認識	主要組織適合抗原複合体	免疫・由井	1 講
10	31	木	5	免疫応答	樹状細胞とT細胞活性化	免疫・由井	1 講
10	31	木	6	免疫応答	リンパ球活性化と刺激伝達	免疫・由井	1 講
11	7	木	4～6	免疫学実習	抗原抗体反応	免疫・Bayarsaikhan	実 1
11	14	木	4～6	免疫学実習	リンパ球の同定と分離	免疫・井上	実 2
11	21	木	4～6	免疫学実習	PFC・フローサイトメトリー	免疫・井上	実 2
11	28	木	1	免疫応答	T細胞の分化と選択	免疫・由井	1 講
11	28	木	2	免疫応答	細胞性免疫応答（1）	免疫・由井	1 講
11	28	木	3	免疫応答	細胞性免疫応答（2）	免疫・由井	1 講
12	5	木	1	免疫応答	液性免疫応答（1）	免疫・井上	1 講
12	5	木	2	免疫応答	液性免疫応答（2）	免疫・井上	1 講
12	5	木	3	免疫応答	免疫寛容と制御（1）	免疫・由井	1 講
12	19	木	1	免疫応答	免疫寛容と制御（2）	免疫・由井	1 講
12	19	木	2		中間テスト	免疫・由井	1 講
12	19	木	3		中間テスト解説	免疫・由井	1 講
1	9	木	1	免疫応答	自然免疫リンパ球、 γ δ T細胞他	免疫・井上	1 講
1	9	木	2	免疫と病気	腫瘍免疫の最前線	非常勤・鶴殿	1 講
1	9	木	3	免疫と病気	腫瘍免疫の最前線	非常勤・鶴殿	1 講
1	16	木	1	免疫応答	免疫細胞の動態	免疫・由井	1 講
1	16	木	2	免疫応答	免疫記憶	免疫・由井	1 講
1	16	木	3	免疫と病気	アレルギー	皮膚科・室田	1 講
1	23	木	1	免疫と病気	移植免疫	外科学第二・日高	1 講
1	23	木	2	免疫応答	粘膜免疫	免疫・由井	1 講
1	23	木	3	免疫と病気	免疫不全	小児科・森内	1 講
1	30	木	1	免疫と病気	自己免疫疾患（1）	内科学第一・川上	1 講
1	30	木	2	免疫と病気	自己免疫疾患（2）	内科学第一・川上	1 講
1	30	木	3		まとめ	免疫・由井	1 講

腫瘍系

責任者	氏名（教室）	池田 裕明（腫瘍医学）		
	電話番号	095-819-7079	e-mail	hikeda@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00～18:00		

対象年次・学期	2年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	0.5
科目英語名	The Biology of Cancer		

1. 授業の概要及び位置づけ

本講座は昭和61年、我が国最初の腫瘍医学講座として発足した。

医学教育では腫瘍に関する基礎科学から臨床腫瘍学までを集中的かつ系統的に担当する。とりわけ、近年急速に発展した癌の発生、進展の機構の分子生物学的知見、診断と治療の技術革新の展開に関する内容を大幅に取り入れ、今日的な腫瘍に対する見方を探り、新たな発展の礎となる教育を目指している。

2. 授業到達目標

具体的には発がんからがんの進展、浸潤、転移に関するがんの分子生物学、がんと生体の相互作用、がんの個別性、分子標的薬、免疫機能を利用した治療法や遺伝子治療等の新しい治療法、基礎研究を基に臨床応用を行うトランスレーショナル研究、臨床腫瘍学の入門と、幅広い学習を目指す。また、本課目の学習を通じて、科学的・論理的かつ批判的な思考法、仮説と検証に基づく考え方、柔軟で独創的な考え方ができることを目指す。

3. 授業内容（講義・実習項目）

講義

4. 教科書・教材・参考書

【参考書】

- ・がんの生物学 R.A. ワインバーグ 南江堂 12,000円
- ・Essential 細胞生物学 中村桂子・松原謙一 監訳 南江堂 8,000円

【その他】

PUB Med (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/books>) に無料で公開されている以下の4つの参考書を自在に参照できるようにすること。

- ・Molecular Cell Biology (4th ed.)
- ・Retroviruses
- ・Molecular Biology of the Cell (4th ed.)
- ・Cancer Medicine (6th ed.)

5. 成績評価の方法・基準等

筆記試験およびレポート（小テスト含む）。レポート又は小テストは毎回の授業の最後に実施し、提出を出席とみなす。出席が2/3に満たなかったものは評価の対象としない。

定期考査 90%、レポート（小テスト） 10%

6. 事前・事後学修の内容

LACS資料を基に、予習並びに復習を行い、次回の講義にて確認作業を行う。

7. 教員名

池田 裕明（腫瘍医学）、浦野 健（島根大学）、藤田 雅俊（九州大学）、林 日出喜（MEDURA）、佐々木 均（病院薬剤部）、今泉 芳孝（原研内科）、益谷 美都子（フロンティア生命科学）、芦澤 和人（臨床腫瘍学）

8. 備考

なし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	C
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	C
V. 地域医療・社会医学	C
VI. 科学的探究	C

腫瘍系

(2年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	25	水	1	腫瘍概論	がんの生物学概論Ⅰ	池田	2 講
9	25	水	2	腫瘍概論	がんの生物学概論Ⅱ	池田	2 講
9	25	水	3	腫瘍概論	がんの生物学概論Ⅲ	池田	2 講
10	2	水	1	腫瘍の発生	がん発生の分子生物学	浦野	2 講
10	2	水	2	腫瘍の発生	がん遺伝子・がん抑制遺伝子	浦野	2 講
10	9	水	1	腫瘍の発生	多段階発癌	林	1 講
10	9	水	2	腫瘍の発生	化学発癌	佐々木	1 講
10	16	水	1	腫瘍の発生	細胞周期と細胞増殖シグナル	藤田	1 講
10	16	水	2	腫瘍の発生	DNA修復異常と発がん	藤田	1 講
10	16	水	3	腫瘍の発生	染色体異常	今泉	1 講
10	23	水	1	腫瘍の進展	がんとアポトーシス	益谷	1 講
10	23	水	2	腫瘍の進展	がんと血管新生	林	1 講
10	30	水	1	腫瘍の進展	転移・浸潤・EMT	池田	1 講
10	30	水	2	腫瘍の進展	がんと炎症	池田	1 講
11	13	水	1	腫瘍の進展	がんと免疫	池田	1 講
11	13	水	2	腫瘍の診断/治療	がん免疫療法	池田	1 講
12	4	水	5	腫瘍の診断/治療	化学療法/個別化がん治療/ トランスレーショナル・リサーチ	池田	1 講
12	12	木	1	腫瘍の診断/治療	臨床腫瘍学入門	芦澤	1 講

放射線基礎医学

責任者	氏名（教室）	工藤 崇（原研放射（アイソトープ診断治療学））		
	電話番号	095-819-7101	e-mail	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	2年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
科目英語名	Basic sciences of radiology		

1. 授業の概要及び位置づけ

生活環境には電離放射線が存在し、医療や研究に利用されている。これらの放射線の性質・作用および医療における利用法を学び、放射線に関する基礎知識を身につける。

2. 授業到達目標

放射線の物理的特性や生物影響などを理解するとともに、放射線の健康影響を自分で調査・評価できる技術を習得する。

3. 授業内容（講義・実習項目）

放射線の性質・作用・健康リスクを分子レベルから組織レベル、個体レベルにいたる多方面から幅広く解説する。また、福島原発事故の話題も交えながら放射線防護、疫学、およびリスクコミュニケーションについて解説する。

実習では、放射線の測定および被ばくによる健康リスク評価を体験し、技術を習得する。

4. 教科書・教材・参考書

【参考書】放射線基礎医学 青山 喬 編纂 金芳堂 5,900 円
この他に、各自で授業に関連した興味深い本を探してください。

5. 成績評価の方法・基準等

期末試験＋Webテスト : 70%
講義・実習への取り組み : 30%
必要に応じてレポートの提出を課す。

6. 事前・事後学修の内容

LACSに講義資料を掲示するので予習しておくこと。

7. 教員名

工藤 崇（原研放射）、西 弘大（原研放射）、松田 尚樹（アイソトープ施設）、山内 基弘（アイソトープ施設）、鈴木 啓司（原研医療）、折田 真紀子（原研国際）、栗井 和夫（広島大学）、長谷川 有史（福島県立医科大学）

8. 備考

講義中に行う小テストの提出をもって出席とする。
欠席しなければならない場合は、あらかじめ届けるか、連絡すること。
講義資料はLACSにアップロードし、紙媒体での配布は行わない。
質問はLACSでも随時受け付ける。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	S
II. 医学・医療に関する知識	A
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	B
V. 地域医療・社会医学	B
VI. 科学的探究	A

放射線基礎医学

(2年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
12	11	水	1～2	放射線物理学	放射能・放射線の基礎物理学	西	1 講
12	11	水	3	放射線生物学(1)	DNA損傷修復と放射線分子細胞応答	鈴木	1 講
12	11	水	4～5	放射線生物学(2)	放射線による細胞死誘導と組織反応	鈴木	1 講
12	11	水	6	放射線生物学(3)	放射性物質による内部被ばくと医療	工藤	1 講
12	18	水	1	放射線生物学(4)	集団レベルの放射線影響	山内	1 講
12	18	水	2～3	外部講師 講義	原子力災害医療	福島県立医科大学 長谷川	1 講
12	18	水	4	放射線リスク学(1)	放射線健康リスクとリスクコミュニケーション	折田	1 講
12	18	水	5～6	外部講師 講義	医療被ばく	広島大学 栗井	1 講
1	8	水	1～2	放射線リスク学(2)	太陽紫外線と放射線の違いからリスクを理解する (物理的性質、健康リスク、規制科学、リスク認知)	松田	1 講
1	8	水	3	放射線計測学	放射線測定の原理と基礎	西	1 講
1	8	水	4～6	放射線基礎医学実習	(1) 放射線の計測 (2) 生物影響の定量化 (3) 健康リスク評価 (4) E-ラーニング	(1) 西 (2) 山内 (3) 松田 (4) -	1 講 アイソトープ実験 施設 良順会館
1	15	水	4～6	放射線基礎医学実習	(1) 放射線の計測 (2) 生物影響の定量化 (3) 健康リスク評価 (4) E-ラーニング	(1) 西 (2) 山内 (3) 松田 (4) -	1 講 アイソトープ実験 施設 良順会館
1	22	水	4～6	放射線基礎医学実習	(1) 放射線の計測 (2) 生物影響の定量化 (3) 健康リスク評価 (4) E-ラーニング	(1) 西 (2) 山内 (3) 松田 (4) -	1 講 アイソトープ実験 施設 良順会館
1	29	水	4～6	放射線基礎医学実習	(1) 放射線の計測 (2) 生物影響の定量化 (3) 健康リスク評価 (4) E-ラーニング	(1) 西 (2) 山内 (3) 松田 (4) -	1 講 アイソトープ実験 施設 良順会館

プレリサーチセミナー

責任者	氏名（教室）	柳原 克紀（臨床検査医学（病態解析・診断学））		
	電話番号	095-819-7574	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日 17:00～18:00		

対象年次・学期	1～3年次・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修（研究医枠及び 熱帯医学研究医枠）	単位数	1
科目英語名	Pre research seminar		

1. 授業の概要及び位置づけ

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

2. 授業到達目標

基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

3. 授業内容（講義・実習項目）

1年次：論文研究（ゼミ形式）と各教室研究内容の紹介セミナー

2年次～3年次：配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

4. 教科書・教材・参考書

各担当教員により必要な資料等を提示する。

5. 成績評価の方法・基準等

1年次：出席状況及び課題レポート等により総合的に評価する。

2年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が評価する。

3年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が評価する。

6. 事前・事後学修の内容

各担当教員による。

7. 教員名

柳原 克紀（臨床検査医学）他

8. 備考

配属教室は、2年次前期終了後に、科目責任者と相談のうえ、仮配属として決定し、3年次のプレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで本配属とする。

また、リサーチセミナーの海外実習については、配属教室と相談のうえ、派遣学生としての応募を可能とする。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	E
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	E
IV. コミュニケーション技能	F
V. 地域医療・社会医学	E
VI. 科学的探究	B

国際医療英語（作成中）

責任者	氏名（教室）			
	電話番号		e-mail	
	オフィスアワー			

対象年次・学期		講義形態	作成中
必修・選択		単位数	作成中
科目英語名			

1. 授業の概要及び位置づけ
2. 授業到達目標
3. 授業内容（講義・実習項目）
4. 教科書・教材・参考書
5. 成績評価の方法・基準等
6. 事前・事後学修の内容
7. 教員名
8. 備考
9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	-
II. 医学・医療に関する知識	-
III. 医療の実践	-
IV. コミュニケーション技能	-
V. 地域医療・社会医学	-
VI. 科学的探究	-

国際医療ゼミ

責任者	氏名（教室）	高村 昇（原研国際）		
	電話番号	095-819-7170	e-mail	takamura@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日 17:00～18:00		

対象年次・学期	1年次：後期 2年次：前・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修（国際保健プログラム）	単位数	各1
科目英語名	Global Health Seminar		

1. 授業の概要及び位置づけ

【授業の概要及び位置づけ】世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特にグローバルヘルス分野における活動を紹介する。

【授業内容】グローバルヘルスに関する教科書、および関連する最新の記事について輪読する。

2. 授業到達目標

本学のグローバルヘルス分野における活動や、現在のグローバルヘルスの潮流について理解する。

3. 授業内容（講義・実習項目）

グローバルヘルス関連の英語教科書を輪読する。

4. 教科書・教材・参考書

特に指定しない。必要に応じて、講義の際に資料を配布する。

5. 成績評価の方法・基準等

出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。

6. 事前・事後学修の内容

事前に世界保健機関（WHO）やJICAの活動について、HP等で確認しておく

7. 教員名

高村 昇（原研国際）

8. 備考

原研棟4階研修室にて実施。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	B
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	A
V. 地域医療・社会医学	S
VI. 科学的探究	B

医学ゼミ

責任者	氏名（教室）	柳原 克紀（臨床検査医学（病態解析・診断学））		
	電話番号	095-819-7574	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日 17:00～18:00		

対象年次・学期	1～2年次：前期後期、3～4年次：後期	講義形態	各担当教員による
必修・選択	必修	単位数	各1
科目英語名	Small group medical seminar		

1. 授業の概要及び位置づけ

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教員と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。

2. 授業到達目標

各担当教員による。

3. 授業内容（講義・実習項目）

各担当教員による。

4. 教科書・教材・参考書

各担当教員による。

5. 成績評価の方法・基準等

各担当教員により、ゼミへの出席状況、取り組み等により総合的に評価する。

6. 事前・事後学修の内容

各担当教員による。

7. 教員名

柳原 克紀（臨床検査医学）他

8. 備考

授業科目の選択方法

- 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教員、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。
1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	D
III. 医療の実践	D
IV. コミュニケーション技能	E
V. 地域医療・社会医学	E
VI. 科学的探究	E

平成31年度 医学ゼミ

番号	教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	開講時間	場所	評価方法	備考
01	肉眼解剖学 (第二解剖)	弦本 敏行	臨床解剖学への招待	様々な疾患の病態・治療を解剖学的側面から理解することにより、それら疾患への理解を深めること	さまざまな臓器に生じる各種の疾患を提示し、それらの発症メカニズムの肉眼的背景について考察する。ゼミは抄読会形式で進行する。解剖学に関連した臨床分野の英語論文を自ら調べた上で読んで理解し、プレゼンテーションをする。さらに、全体で討論する。	金/3校時	視聴覚セミナー室1	出席、発表の評価、質疑応答	
02	組織解剖 (第三解剖)	小路 武彦	ビデオで学ぶ組織発生	発生学・組織実習で得た知識を深めることを目的とする。	日本語の動画教材を用い、発生学から疾患への理解を深める。毎回組織発生に関するDVDを鑑賞の後、グループ討論を行う。	金/3校時(11:10～12:10)	小会議室	出席、レポートを総合的に評価。	
06	微生物学 (感染分子)	田口 謙	ドラマで医学を学ぶ	医学英語や医療現場での考え方を学ぶ	アメリカの医療ドラマや映画を鑑賞し、そこで扱われる症例・疾患について考察する	金/3校時	基礎棟7階・会議室	出席・受講態度・レポート	
08	公衆衛生	西村 貴孝	現代人の健康問題を考える	現代人の健康問題とその要因や時代背景、それらの変遷を学び、現在そして未来の健康問題を考える	論文抄読や討論を通して毎回全員参加型のゼミを行う	水/3校時	公衆衛生学資料室	ゼミへの積極性、貢献度、出席、レポート	
16	精神神経科	小澤 寛樹	映画から見る精神医学	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神疾患を取り扱った映像作品を毎回取り上げ鑑賞し、1～2、3人がその疾患に関して事前研究と資料作成、講義当日にプレゼンテーションを実施する事で、能動的な参加姿勢を養う。	原則として水曜日17時開始	第3講義室または精神科外来63番診察室	①出席点50%②視聴後に行うディスカッションへ参加意欲・各回の提出レポート50%	毎回映画の視聴後にテーマディスカッション、解説講義を21時頃まで行います。期間内で5校時目以降に他科目を受講する必要がある人、その他予定のある人などは、その点留意してください。
17	精神神経科	今村 明	児童思春期の精神医学を考える	精神医学の世界に於いて児童・思春期の精神医学はその社会的な重要性に比して、専門家が不足している領域である。本ゼミでは発達障害を中心にこの分野を中心に据え取り上げ、学んでいく。	発達障害を中心に児童・思春期精神医学についての概要を学んでいく。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。時間が許せば、課外実習として各種施設などを見学し、実際に学ぶ事も行いたいと考えている。	水曜日の18時以降開始	精神科外来63番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性②講義終了後に提出してもらう課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を経過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
18	精神神経科	木下 裕久	リエゾン症例から学ぶ臨床精神医学(基礎編)	総合病院の一般病棟で遭遇する可能性が高い精神障害の症例を題材として、リエゾン精神医学の基本的な考え方を診断から治療への経過を通して学ぶ講義とする。	評価ツールの使い方など、低学年でも興味を持っていただけの内容です。	原則として火曜日19時開始	精神科医局	積極的な参加姿勢や課題への取り組みを評価	参加希望者が11名を経過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
19	精神神経科	松坂 雄亮	医学教育学入門	正規のカリキュラムで学ぶ機会の少ない医学教育の専門的知識を身につける。その上で、学生たち自らが当事者目線で自分たちの受けている教育について深く考察する。学年を越えたディスカッションを通じて、主体的に医学を学ぶ態度を養う。	たとえば講義の方法、実習の内容、評価の方法、カリキュラムの構成など、医学教育に関するテーマをいくつか取り上げ、文献等を読んで知識を共有し、よりよい学び方と教育のあり方についてディスカッションを行う。まだ経験していない臨床実習や午後臨床研修、専門医研修制度などを含めても構わない。	火曜18:30～	精神科医局	ゼミへの積極的な参加姿勢や取り組み状況を総合的に評価する	
20	精神神経科	松坂 雄亮	精神科医と学ぶ総合診療への道	医療面接の実践を通して、基礎医学や病理学の知識を活用し、臨床推論を進める技術身につける。精神科医というある種「その道のプロではない者」とともに行うことで、高い向上心を持って学ぶ態度を身につける。	ロールプレイ形式で医療面接の体験を行い、その面接に対して振り返りを行う。その後、症例に関する基礎医学的、病理学的な知識について、学生たちで協力して学ぶ。毎回異なる臓器の異なる病態を扱い、総合的な診療能力の醸成に寄与する。	火曜18:30～	精神科医局	ゼミへの積極的な参加姿勢や取り組み状況を総合的に評価する	
21	小児科	中嶋 有美子	障害か個性か―子どものハンディキャップを知った家族の受容と社会の支援を考える	人と違うことは障がいなのか、個性なのか―家族が直面する葛藤や、乗り越えていくための課題を少しでも理解し、周囲が支援するためには何が必要かを一緒に考えてもらいたい。	我が子に染色体異常があるとわかったとき、育児中に育てにくさを感じたとき、よその子よりも遅れていると思ったとき、途方にくれ、悩み、怒り、苦しむ家族がそれを受容していくことができるのかどうか。子どもが大きくなって社会の中で生きていくためにはどのような道筋があるか。毎回テーマを決めて考察を加える。	木曜日17時～18時	10階小児科医局カンファランス室	ゼミの時間内、テーマについて真剣に考えているかどうかで評価します。	
33	地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を体験し、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括ケアについての基礎を理解する。	坂本キャンパスで実施される地域医療研究会で地域医療への知識と理解を深める。そのうえで五島市で行われる集中合宿(2泊3日)に参加し、講義・ワーキングショップ・施設訪問など現場の地域医療を体験してより理解を深める。	地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定) 長崎地域医療セミナー in GOTO 8月19日(金)～8月21日(日)	地域医療研究会(坂本キャンパス) 長崎地域医療セミナー in GOTO (長崎県五島市)	出席・発表・レポート	地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域枠入学生を主な対象としますが、地域医療に関心のある地域枠でない学生さんの受講も可です。※地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人を予定しています。
34	原研国際	高村 昇	グローバルヘルス入門(2)	一年時に引き続き、推薦入学国際枠で入学した学生に加えて一般学生を対象に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、グローバルヘルスに関する成書の輪読会を行い、あわせてグローバルヘルスに関する概説を行う。	一年時に引き続き、推薦入学国際枠で入学した学生に加えて一般学生を対象に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、グローバルヘルスに関する成書の輪読会を行い、あわせてグローバルヘルスに関する概説を行う。	金/3校時	原研棟4階研修室	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。	
35	へき地病院再生支援・教育機構	調 漸 中橋 了太	へき地・離島医療の達人から学ぶ	へき地・離島医療の現状や地域医療について学び、少子高齢化を迫っている我が国の医療について考える。	・「離島・へき地など地域の最前線で活躍する多職種によるを双方向性の講義を中心とする。 ・地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、フレッドクターとして活躍する医師のほか行政や地域のメディカルスタッフによる講義を予定している。 ・「地域医療」という漠然としたイメージをリアルな実感を持った医療として認識できるようになること。 ・地域枠学生に限らず、幅広い学生の参加を歓迎する。」	金曜日18:00～19:30	視聴覚セミナー室1	出席・レポート・発表で評価を行います	全学生を対象としています。地域枠以外のみなさんも大歓迎です。地域医療や総合診療に関心のある方の参加を待っています。
38	フロンティア生命科学	益谷 美都子 芦澤 和人 本田 琢也 二口 充	がん医療の最前線での研究や課題を学ぶ	がん医療の最前線での研究や課題についてのカンファレンスに参加し学び、討論し、理解を深める。	全国のがん診療連携拠点病院と国立がん研究センターが参加するネットワークで開催する多地点合同TVメディカル・カンファレンスに参加し、聴講する。	第2、第4木曜日17:30-19:00	C棟8階第6会議室	出席、出席態度を重要視する。レポート・試験などはありません。	全学生を対象としています。がん医療に関心のある方の参加を歓迎いたします。
39	熱帯医学研究所教育室	有吉 紅也 その他熱研教授	熱帯医学入門	1)より幅広い視野を持った熱帯医学研究医を育成するために、熱帯医学が幅広い学問領域であることを理解させ、熱帯医学における基礎医学研究の重要性を学ぶこと、2)長崎大学における熱帯医学に貢献する医学研究活動を学ぶこと	熱帯医学に関係する基礎医学研究に携わる医学系基礎研究分野教室及び熱帯医学研究所基礎教室の教授が、各分野の背景を平易な用語で説明しながら、研究活動の概要を紹介する。	原則として火曜日(16:30-17:30)	グローバルヘルス総合研究棟5階小会議室	出席およびレポート(英語800～1200ワード)	推薦枠で入学した1年生との合同講義

医学英語Ⅱ

責任者	氏名（教室）	トッド・サンダース（感染分子解析学）		
	電話番号	095-819-7059	e-mail	saunders@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火・木・金 13:00-17:00 ※事前アポイントを要する		

対象年次・学期	2年次・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
科目英語名	Medical English Ⅱ		

1. 授業の概要及び位置づけ

器官別のMedical Terminologyを医学英単語の構造から学び、医学英語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで全器官を網羅します。

また、医学英語論文の講読・要約を通し、医学研究に必要な基礎知識を学習します。

【Medical Terminology】

・医学英単語の成り立ち ・図解と名称 ・発音聴き取り ・日常語への置き換え 他

【医学英語論文】

・医学英文法 ・論文の種類と構成 ・疾病の基本知識 ・研究成果の読み取り ・要約 他

2. 授業到達目標

医学英単語の語彙力を身に付けるとともに、医学英語論文の講読・要約を通し、医学研究に必要な基礎知識を修得することを目指します。

3. 授業内容（講義・実習項目）

対面授業8回、web学習7回の全15回で行います。

4. 教科書・教材・参考書

eラーニング教材を用います。詳細は初回授業時に説明します。

5. 成績評価の方法・基準等

授業への参加状況、eラーニングの受講状況、終了テストの結果を総合的に判断します。

6. 事前・事後学修の内容

eラーニングの受講は計画的に行うこと。

7. 教員名

トッド・サンダース（感染分子解析学）

8. 備考

なし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	F
II. 医学・医療に関する知識	F
III. 医療の実践	F
IV. コミュニケーション技能	E
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	F

医学英語Ⅱ

(2 年次・後期)

[illegible]